

<添付資料>

ファンド概要

ファンド名: AN Venture Partners I, LP

ファンド規模: 2 億米ドル (約 290 億円)

- 20 社以上のリミテッドパートナー(LP)が出資

運用期間: 10 年間 (2023 年 12 月から)

投資対象

- 対象分野 バイオテクノロジー、またはバイオテクノロジー関連
- 対象ステージ: 全ステージ (プレシード、シード、シリーズ A またはそれ以降)
- 対象地域:
 - 日本のスタートアップまたは日本初のサイエンスイノベーション
 - 日本の技術を活かした海外のスタートアップ

投資先: 下記を含む 7 社 (2025 年 6 月末現在)

- キャパシティ・バイオ (ミトファジー・プラットフォーム)
- タイプライター・セラピューティクス (TPRT 遺伝子書き換え技術)
- シティ・セラピューティクス (RNAi 創薬)
- インブリア・ファーマシューティカルズ (部分的脂肪酸酸化阻害薬)
- その他 3 件のステルスモード企業

			
キャパシティ・バイオ メカニズム: ミトファジー・プラットフォーム 概要: - 画期的なミトファジー治療プラットフォームを開発 - 同社チームは、ミトファジー(ミトコンドリアの分解・再生を誘発し、ミトコンドリアの質を向上させるプロセス)を引き起こす、薬剤標的可能な表面受容体を発見 - 同社のパイプラインは、神経筋疾患、神経変性疾患、自己免疫疾患、遺伝性希少疾患などの分野の可能性	タイプライター・セラピューティクス メカニズム: TPRT 遺伝子書き換え技術 概要: - 標的・特異的に治療用遺伝子を挿入できる基盤技術をベースとして、mRNA医薬ベースの遺伝子治療の実用化を目指すスタートアップ - 同社の共同創業者の1人である、東京大学の藤原晴彦名誉教授(同社のシニアリサーチャー)のトランスポゾンに関する研究成果などをベースに設立された 2024年12月にAMEDによる令和6年度「創業ベンチャーエゴシステム強化事業」に採択	シティ・セラピューティクス メカニズム: RNAi 創薬 概要: - siRNAの研究を手掛ける東京大学の泊幸秀教授と、米オハイオ州立大学の中西孝太郎教授の知財をベースに当社がARCH、およびAlnylamのFoundersと共同で創業した次世代型siRNA創薬企業 2024年10月に135百万ドルでのシリーズA調達を完了 2025年1月にBausch+Lombと、2025年5月にBiogenと、それぞれ最大485百万ドル、最大十億ドルのマイルストーン支払いを含む戦略提携を発表	インブリア・ファーマシューティカルズ メカニズム: 部分的脂肪酸酸化阻害薬 概要: - 非閉塞性肥大型心筋症(nHCM)や駆出率保持型心不全(HFpEF)等の治療薬を開発 - 部分的脂肪酸酸化阻害剤であるnineraxstatにより心筋のエネルギー代謝を脂肪酸からグルコース利用へとシフトさせ、エネルギー効率を向上させる 2025年4月に58百万ドルでのシリーズB調達を完了し、主にnHCMのPhase 2b試験の推進に充当される